



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桜台団地マンション建替事業(Cブロック)	階数	地上6F地下1F
建設地	横浜市青葉区桜台39番	構造	RC造
用途地域	一種中高層、防火地域、第三種高度地区	平均居住人員	552 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2022年4月15日
敷地面積	8,135 m ²	作成者	(株)松田平田設計 横浜事務所
建築面積	3,069 m ²	確認日	2022年4月15日
延床面積	11,985 m ²	確認者	(株)松田平田設計 横浜事務所

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.2
Q2 サービス性能: 3.0
Q3 室外環境(敷地内): 3.0
LR1 エネルギー: 3.4
LR2 資源・マテリアル: 3.0
LR3 敷地外環境: 3.2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<ul style="list-style-type: none"> ・桜台公園と繋がる緑に包み込まれた住環境の実現 ・採光、通風が確保できる施設配置計画 		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> ・品確法の断熱等級 4 等級 ・カーテンや庇を組合わせて屋光を制御 ・品確法のホルムアルデヒド発散等級 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・光ケーブル、メタルケーブル等通信の多様化 ・建物全体のコンセプトが明確にあり、内装に反映している ・品確法劣化対策等級 3 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラカシ、ソヨゴ等の自生種を植樹 ・植栽により良好な景観を形成している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> ・潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルCO₂排出率を参照値より抑制

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



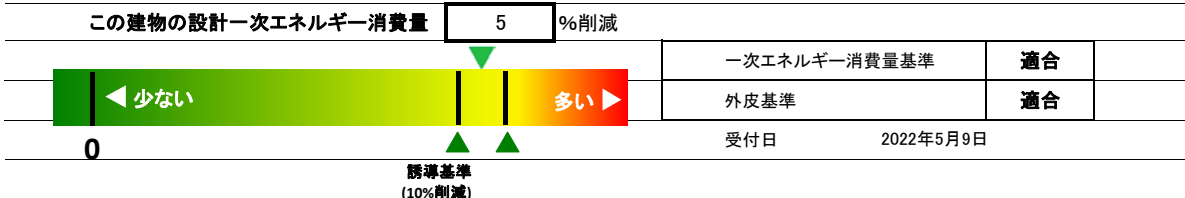
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **桜台団地マンション建替事業(Cブロック)**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①品確法断熱等級4

③BEI=0.95

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥品確法ホルムアルデヒド発散等級3

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯品確法劣化対策等級3

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
_____	_____
エネルギーマネジメントシステム導入	_____
_____	_____



CASBEE横浜2017年版v.1.7
桜台団地マンション建替事業(Cブロック)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境							
1.1 騒音							
1.2 遮音							
1 開口部遮音性能							
2 界壁遮音性能							
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音							
2 温熱環境							
2.1 室温制御							
1 室温							
2 外皮性能							
3 ソーン別制御性							
2.2 湿度制御							
2.3 空調方式							
3 光・視環境							
3.1 昼光利用							
1 昼光率							
2 方位別開口							
3 昼光利用設備							
3.2 グレア対策							
1 昼光制御							
3.3 照度							
3.4 照明制御							
4 空気質環境							
4.1 発生源対策							
1 化学汚染物質							
4.2 換気							
1 換気量							
2 自然換気性能							
3 取り入れ外気への配慮							
4.3 運用管理							
1 CO ₂ の監視							
2 喫煙の制御							
Q2 サービス性能							
1 機能性							
1.1 機能性・使いやすさ							
1 広さ・収納性							
2 高度情報通信設備対応							
3 バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性							
1 広さ感・景観							
2 リフレッシュスペース							
3 内装計画							
1.3 維持管理							
1 維持管理に配慮した設計							
2 維持管理用機能の確保							
2 耐用性・信頼性							
2.1 耐震・免震							
1 耐震性							
2 免震・制振性能							
2.2 部品・部材の耐用年数							
1 躯体材料の耐用年数							
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔							
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔							
4 空調換気ダクトの更新必要間隔							
5 空調・給排水配管の更新必要間隔							
6 主要設備機器の更新必要間隔							
2.4 信頼性							
1 空調・換気設備							
2 給排水・衛生設備							
3 電気設備							
4 機械・配管支持方法							
5 通信・情報設備							
3 対応性・更新性							
3.1 空間のゆとり							
1 階高のゆとり							
2 空間の形状・自由さ							
3.2 荷重のゆとり							
3.3 設備の更新性							
1 空調配管の更新性							
2 給排水管の更新性							
3 電気配線の更新性							
4 通信配線の更新性							
5 設備機器の更新性							
6 バックアップスペースの確保							



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 桜台団地マンション建替事業(Cブロック)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	3.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑭敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	3.5	0.50	-	-	3.5		
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0		
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8		
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2		
1 地球温暖化への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6		
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1		
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-		
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-		
2 振動		-	-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目				-	-	-		
<事務用途>				-	-	-		
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>				-	-	-		
健康と安心				-	-	-		
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	5.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	3.0	-	-	-	-		